

## 島根原子力発電所1号機の発電開始について

島根原子力発電所1号機(沸騰水型, 定格電気出力46万キロワット)は, 平成21年5月7日から第28回定期検査のため発電を停止しておりましたが, 平成21年9月13日12時19分, 発電を再開しました。(原子炉起動:平成21年9月10日6時7分)

今回の定期検査期間中に, 通常実施する工事の他, 耐震安全性に対する信頼性を一層向上させるため, 耐震裕度向上工事を実施しましたが, この工事が効率的に進捗したことから, 発電停止期間は当初計画よりも, 約45日間短縮となりました。

今後, 調整運転を行った後, 10月上旬には経済産業省の最終検査を受け, 定期検査を終了する予定です。

今回の定期検査期間中に実施した主な工事等の内容は以下のとおりです。

### 1. 定期検査期間中に実施した主な工事

#### (1) 燃料取替工事

原子炉内の全燃料400体のうち, 72体を新燃料に取替えた。

#### (2) 制御棒駆動機構取替工事

制御棒駆動機構97体のうち, 9体を予備品に取替えた。

#### (3) 出力領域計装取替工事

出力領域計装の検出器集合体22体のうち, 2体を取替えた。

#### (4) 制御棒取替工事

制御棒97本のうち, ボロンカーバイド粉末を制御材とする制御棒4本, またハフニウム棒を制御材とする制御棒4本について, 各々同一タイプの制御棒に取替えた。

#### (5) 耐震裕度向上工事

耐震安全性に対する信頼性を一層向上させるため, 配管(主蒸気系, 原子炉再循環系等)およびケーブルトレイについて支持構造物の補強を行った。

### 2. 定期検査期間中に実施したトラブル事例の水平展開

#### (1) 原子炉再循環系配管等の点検

原子炉再循環系配管等の溶接継手部12箇所について点検を実施した結果, B-原子炉再循環系配管の溶接継手部1箇所にひびを確認した。当該継手部については, 健全性評価制度に基づく評価を行った結果, 十分な健全性が確保されることを確認したことから, 継続使用することとした。なお, 他の11箇所の溶接継手部についてはひび等の発生はなく健全であることを確認した。

平成21年2月18日原院第2号「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」に基づく検査

#### (2) 復水・給水系配管等の点検

復水・給水系配管等, 700箇所の配管肉厚測定を実施し, 異常のないことを確認した。

平成17年2月16日原院第1号「原子力発電所の配管肉厚管理に対する要求事項について」に基づく検査

以上

#### 関連リンク

[原子力発電\(環境@エネルギー\)](#)